



# 若葉台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadai/>

発行 平成29年10月12日  
横浜市立若葉台中学校  
学校だより 3号  
校長 岩永 徹  
副校長 佐久間桂一

## 体育祭 大成功！

校長 岩永 徹

天候の関係で残念ながら土曜開催とはなりませんでしたが、予備日の9月21日(木)、晴天の下で体育祭が行われました。

私は職員に、「先生方が走り回るのではなく、生徒たちが主体的に動ける体育祭にしよう」と伝え、生徒たちにも始業式や練習の場で「自分たちの力で盛り上げてほしい。」と語りかけました。

職員の的確な事前指導の成果もあり、体育祭当日は「生徒が主役の体育祭」を実現することができました。競技はもちろん、さまざまな係の仕事等についても、生徒たちは、ほとんど職員の手を煩わすことなく、主体的に動いてくれました。私は今年着任したので去年との比較はできませんが、少なくとも私の期待以上と言ってもいいくらい、素晴らしい体育祭でした。こんなに頑張れる本校の生徒たちを誇りに思います。生徒たちにはぜひ自信を持ってもらいたいものです。

平日開催となってしまったにもかかわらず、たくさんの保護者や地域の方々にご来校いただきました。改めて、本校は保護者や地域の方々に支えられながら歩んでいる、ということを実感いたしました。本当にありがとうございました。感謝しています。

### 体育祭

今年度の体育祭は、9月21日(木)の平日開催となりましたが、真夏を思わせる天気となり、子どもたちの一生懸命な姿が見られました。今年の体育祭は、生徒が作り上げた素晴らしい体育祭と多くの方からお褒めのお言葉をいただきました。

#### 体育祭実行委員長

長谷川 裕士

今年の体育祭は、延期になってしまいましたが、各クラス本番まで全力で取り組んでよかったと思います。本番では、体育祭実行委員や応援団を中心に盛り上がる事ができたと思います。負けて悔しかったり、勝ててうれしかったり、それは本気で練習してきたからだと思います。これからも色々なことに本気で取り組んでいこうと思います。

#### 赤組 応援団長 熊澤 彩花

赤組の皆さんの応援と協力のおかげで優勝できたので感謝しています。

#### 青組 応援団長 間島 大喜

青組は負けたけど、応援合戦の時に青組全員が一つになれて嬉しかったです。

#### 黄組 応援団長 真保 慧斗

今回黄組は、優勝できませんでしたが、来年は優勝できるように頑張ってください。



# ボランティア活動

色々なボランティア活動の一部を紹介します。今後も地域の行事やボランティア活動に積極的に参加してほしいと思います。

## 赤い羽根募金

10月1日～3日の3日間。社会福祉協議会の方々と小学校のジュニアボランティアの皆さんとともに福祉委員会の生徒たちがイトーヨーカドー前にて赤い羽根の募金活動に参加してきました。

3日間合計214,790円集まりました。

### 福祉委員長の言葉

先日福祉委員会は、赤い羽根募金に参加しました。小学生が声を出して頑張っている姿を見て私たちも声を出して頑張りました。今後もこのような活動を続けていきたいです。

3年 渥美 杏



## 若葉台小運動会手伝い

9月30日に若葉台小学校の運動会が行われました。そこで22名の中学生が、小学校の先生の指導の下、道具を運んだり色々なお手伝いをしました。



## /10月・11月・12月の主な予定/

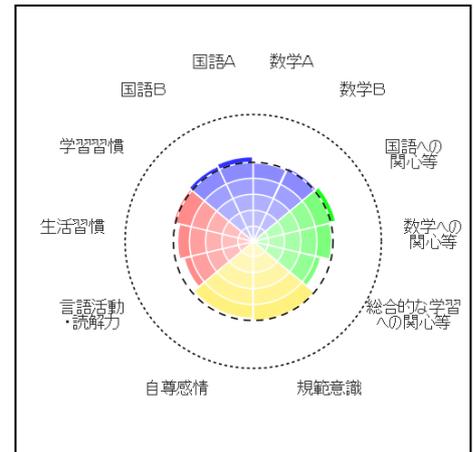
- 10月8日(日) 若葉台大運動会(地域の行事です。みなさん参加しましょう!!)
- 10日(火)～13日(金) 3年三者面談
- 12日(木) 1・2年放課後学習会
- 13日(金) 個別級小中交流会 上川井小学校
- 20日(金) 合唱コンクールリハーサル・地区懇談会(Eホール)
- 25日(水) 個別級 旭区合同行事
- 27日(金) 合唱コンクール
- 11月1日(水) 第2回進路説明会(Eホール)
- 2日(木) 地域交流授業(午前中)
- 6日(月) はまっこ読書の日
- 8日(水)～9日(木) 個別級旭区合同宿泊行事
- 9日(木)～10日(金) 3年横浜市学力学習状況調査
- 12日(日) 若葉台文化祭(地域の行事です。みなさん参加しましょう!!)
- 16日(木)・17日(金)・20日(月) 第3回定期テスト
- 22日(水) 1年職業講話
- 24日(金) 小中合同学校保健委員会(56校時 体育館)
- 27日(月)～28日(火) 2年生職業体験
- 30日(木) 生徒会役員選挙
- 12月5日(火)～8日(金) 3年進路面談
- 15日(金)・18日(月)・19日(火)・20日(水) 1・2年個人面談
- 25日(月) 2学期終業式

# 全国学力状況調査 結果と分析

実施 平成 29年 4月 18日

## 【教科に関する調査結果】

	国語A	国語B	数学A	数学B
若葉台中学校	79	74	63	49
全国との差	+2	+2	-2	+1
神奈川県	77	72	64	48
全国	77	72	65	48



※Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用に関する問題」です。

※円グラフの点線は、全国平均を示しています。

### 《国語》

			本校	全国との差	神奈川県	全国
評価の観点	国語A	話す・聞く能力	81	+6	76	75
		書く能力	88	+2	86	86
		読む能力	75	+1	75	74
		言語についての知識・理解・技能	79	+2	76	77
	国語B	話す・聞く能力	77	+5	73	72
		書く能力	62	+1	62	61
		読む能力	71	-1	71	72
		言語についての知識・理解・技能	35	-6	42	41

### 《数学》

			本校	全国との差	神奈川県	全国
評価の観点	数学A	数学的な技能	65	-3	67	68
		数量や図形などについての知識・理解	62	+2	60	60
	数学B	数学的な見方や考え方	38	+1	37	37
		数学的な技能	63	+1	62	62
		数量や図形などについての知識・理解	84	-1	84	85

# 【教科と生活状況の分析】

## 《国語》

調査結果から、各領域の平均正答率は、総じて全国、県を上回っていると言えます。特に、目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる問題や、文章の構成を考えて分かりやすく書くことに関する問題はよくできていました。一方で、言語に関する問題の正答率は低く、特に漢字を書く問題（組織のキボを大きくする・雨で運動会がエンキになる）ができていませんでした。

今後の課題は、文脈に即して正しく漢字を書く力を付けることです。現在、授業の中で毎時間10分間小テストをしたり、昼休みに図書室で漢字の補習をするなどしていますが、なかなか定着しないのが現状です。より反復の学習を増やし、学校でも家庭でも毎日漢字の学習に取り組むようにしていくことが必要です。また、日頃の学習時のノートやレポート、カードを見ても、間違った漢字を使ったり、面倒がって漢字を使わずにひらがな書きで書く様子が見受けられます。普段の生活の中で、正しく漢字を使う習慣を身につけさせていくことこそが重要です。

## 《数学》

調査結果は、本校の生徒の数学における学力がほぼ全国平均並みであることを示しています。各問の正答率を全国平均と比較して、5ポイント以上の差があった問について調べたところ、以下のようになりました。

	選択式	短答式	記述式	計
5ポイント以上高い	4問	2問	1問	7問
5ポイント以上低い	1問	9問	1問	11問

全体の正答率を引き上げているのは主に選択式の問題で、短答式の問題は全体の正答率を大きく引き下げています。つまり、与えられた選択肢から正答を見つけることは得意だが、自分で考えて正答を書くことが苦手であるということです。計算結果や、考えたことを正しい形に表す表現力を身につけさせることが課題です。

また、「錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ」や、「さいころを投げるときに『同様に確からしい』ことについての正しい記述を選ぶ」問題では、全国平均と比較して非常に正答率が高くなっていました。理屈を理解することが苦手であり、その代わりに定義を暗記することに努力している、日ごろの生徒の姿と重なる結果と言えます。公式の成り立ちを丁寧に教えるなどして、演繹的な理解ができるように指導していくことが求められます。

## 《学習状況及び生活状況》

授業に対しておおむね前向きで、出された課題についてもしっかりとこなしています。また、昼休みや放課後に学習会を開いていることもあり、理解できていない所を聞きにくる生徒も増えてきています。ただ、自らが計画を立てて自主的に学習に取り組む生徒は少ないという現状があります。家庭での学習時間も全国や神奈川県に比べて短く、その分スマートフォンやテレビ（DVD）にかける時間が多くなっています。家庭でのルール作りも含め、時間の使い方について折にふれて話をしていく必要があります。

地域に関しては、ボランティアや行事に積極的に参加するものの、自分が地域のために「何をすべきか」という考えまで至る生徒は多くありません。

以上のことから日頃から自分の考えや意見を積極的に人前で述べられるように、授業の中で教え合いや学び合いの場面を多く持ち、異なる他者の意見を受けとめ、自分自身の意見を述べられるように言語活動の充実化を図っていきたいと考えています。